

大牟田YEG
事業報告

地域の力で未来を創る 婚活イベントによる 人の縁が紡ぐ再生モデル

福岡県大牟田市。「炭鉱のまち」として栄えた歴史を持つこの地域も、近年は人口減少や若者の流出が大きな課題となっている。持続可能な地域づくりが喫緊の課題となる中、地域の未来を背負い、さまざまな活動に尽力しているのが大牟田商工会議所青年部（以下、大牟田YEG）だ。中でも、設立以来、出会いと定住促進を目的として取り組んできた婚活イベントは、代表的な事業の一つとなっている。大牟田YEGが描くまちの将来について取材した。

参加者が交流しやすいように 雰囲気重視し運営

大牟田市の人口は、1959年には

20万8000人を数えたが、2025年には約10万2000人と半減している。何とかしなければと考える大牟田YEGは、14年の設立以来、多



婚活イベントは毎年名前を変えて開催している。「コン活冬物語～粉雪の煌めき、運命の出会い～」(2024年)のポスター

くのメンバーが携わってまちの活性化に取り組んできた。そして、設立間もない頃から続く大牟田YEGの事業の柱ともいえるのが婚活イベントだ。狙いは明確で、若者が大牟田に根を下ろすきっかけをつくること。男性は市内に在住または勤務していることを条件とし、女性は市外からも広く参加を募るスタイルを採用している。

婚活イベントを成功させるには、参加者が自然体で交流できる雰囲気づくりが不可欠。大牟田YEGはその点に徹底してこだわっている。昨年度開催したイベント「コン活冬物語」ではメンバーの店舗を会場に活用し、アットホームな空間を演出。司会者がジェスチャーゲームを取り入れ、初対面同士の緊張を解きほぐした。食事やお酒を交え、会話が自然に広がる工夫も随所に施されている。また、会場選びも多彩だ。クルージングやBBQが楽しめるレストラン、夕日の見えるスポットなど、非日常を感じら



「ハイツ de 恋物語」(2018年)で夕日を前に語り合う参加者たち



「恋フェス in Omuta」(2019年)は緑豊かで開放的な公園で開催された

れるロケーションを積極的に採用。過去にはお笑い芸人「レモンティー」を招き、笑いを交えた回もあった。

一方で、大牟田市の諏訪公園で公開告白を実施した際には通行人の視線に参加者が萎縮する結果となり、これを教訓に、現在は人目につかない環境を優先する方針へと転換している。また、大牟田YEGに託児所を営むメンバーがおり、臨時の託児所を設置して子どもを持つ参加者を支援したこともある。

工夫を重ね にぎわい創出にも寄与

こうした工夫の積み重ねは確実な成果に結びついている。昨年度は30人の参加で11組のカップルが成立した。婚活実行委員長で大牟田YEG専務理事の内田充生さんは「このイベントのおかげで結婚できました」という参加者の感謝の手紙が商工会議



キューピッド役を務める大牟田YEGメンバー

域産品PRとの相乗効果も見込んでいます。道の駅自体のにぎわい創出にも寄与して、地域活性にも力を入れていくつもりです」と意気込んでいる。こうして大牟田YEGが精力的に活動を継続できる背景には、地域の多様な団体と連携しながら事業を行って点がある。大牟田市と民間企業が連携して出会いのきっかけづくりに取り組むプロジェクト「love おおむた」は、大牟田商工会議所西日本シティ銀行大牟田支店（西翔会）、大牟田市子ども未来室子ども育成課、菓子店「菓舗だいふく」、地元企業の「大牟田ビンテージのまち」「Cheers Factory」などと立ち上げたもので、年5回以上の婚活イベントを企画している。

各団体は、それぞれ調整しながら人員を派遣し合う体制を築いてきた。こうした横のつながりが、地域全体のイベント力の底上げにつながっている。これに行政も賛同し、イベント終了後のアンケートを実施したり、婚活イベント前にセミナー講師を派遣したりして、大牟田YEGの活動を強力に後押ししている。

独自のノウハウを提供し 地域再生のきっかけに

演出と工夫に富んだ大牟田YEGの挑戦は全国からも注目されていて、

“おおむたを元気にしたい！”
という思いで縁結びに取り組む
「love おおむた」のロゴ



所に届いたことがあります。これらの報告は運営メンバーにとって大きな励みになりました」と言う。さらに、結婚したカップルを対象に、お祝い金を贈る制度も実施している。2人のインタビューを広報記事に組み合わせ、地域に好循環を生み出す仕組みづくりが進められてきた。

2025年度大牟田YEGの佐藤大和会長は「今年はいベントの会場を道の駅に移す計画で、市外からの集客や地



大牟田YEGの佐藤大和会長（右）と内田充生専務理事

富山YEGからノウハウの提供を依頼されるなど、人口減少や移住促進といった共通課題に挑むモデルケースとなりつつある。特に多くのYEGが苦戦している「女性の集客」において、大牟田YEGは行政・金融・民間と連携し、企画・募集・広報に三位一体となって取り組むことで、安定した運営を実現している点が評価されている。

「私たちが目指しているのは、単に婚姻数を増やすことではありません。出会いを通じて、このまちで生きていきたい」と考える人を増やすことと語る佐藤会長。これまで開催してきた婚活イベントは、若者が地域と出会い、人とつながり、暮らしを築くきっかけを提供する場だ。そこから芽生えた縁が、結婚や定住へと実を結び、まちに新しい命を吹き込んでいる。

行政・地域団体・企業が垣根を越えて連携し、地域全体で若者の未来を支える体制が築かれている点も、この取り組みの大きな強み。人口減少や少子化という多くの自治体が抱える課題に対し、「出会いとつながり」を軸に地域を再生しようとする姿勢は、まちづくりの新しい形を示している。今年12月に、新たに道の駅を舞台に「婚活LOVEステーション in 道の駅おおむた」を開催。その輪がさらに広がり、大牟田の未来、そして全国の地域再生のモデルへと発展していくことが期待される。

編集後記

高橋佳孝
(松戸YEG)

大牟田YEGの佐藤会長と内田専務理事は、小学生の頃からの同級生であり、まさに「竹馬の友」と呼べる親友です。幼い頃からともに育ったまちへの愛着が、現在までの活動の原動力になっています。地域の発展を願う気持ちを共有し、志を同じくして行動する2人の姿に、まちづくりの本質を感じました。この思いが全国の仲間たちにも広がり、新たな挑戦の契機となることを願っています。

大牟田YEG

会長・佐藤大和
会員数・95人
創立・2014年
スローガン: SKY HIGH 未来への懸け橋

HPはこちら